

名瀬測候所長のホームページをご覧ください、
ありがとうございます。

令和 8 年 4 月から所長を務めます福永信悟
(ふくながしんご) です。

名瀬測候所は、明治 29 年に旧大島郡伊津部村
に「大島測候所」として設置されて以来、観測や
予報などの気象業務を 130 年にわたり続けており
ます。これまで数回の移転を経て、2024 年 11 月
から地域防災機能の強化等を目的として奄美市マ
リントウン地区に建設された合同庁舎において業
務を開始しております。



近年、全国各地で大雨や台風、地震などの自然災害が相次いで発生しており、奄美地方も例外ではありません。最近では、2024 年 11 月に与論町で線状降水帯が発生し、大雨特別警報を発表するなど記録的な大雨となったほか、2025 年 6 月からはトカラ列島近海で活発な地震活動が続く、十島村で震度 1 以上を観測する地震が 2,300 回を超え、悪石島では震度 6 弱を観測しました。

災害は忘れる間もなくやってきます。自然災害から身を守るために、日頃からお住まいの地域の災害リスクや避難経路の確認をハザードマップなどにより確認し、いざというときに自治体や気象庁などの防災機関が発信する防災情報を、避難行動などに有効に活用することが重要です。

名瀬測候所では、適時的確な防災気象情報の発信を行うとともに、地域の防災関係機関と連携しながら、防災力向上に貢献してまいります。私自身、鹿児島県出身であり、名瀬測候所も 2 度目の勤務であることから、地の利を活かしつつ、職員一丸となって地域のために尽力してまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

令和 8 年 4 月
名瀬測候所長
福永 信悟